

## 公益社団法人 奈良県放射線技師会



鹿苑

ろくえん

ニュース

No. 276

2021年1月15日発行

発行所：公益社団法人 奈良県放射線技師会

発行人：高谷 英明

編集人：秋山 敬純

〒636-0302 奈良県磯城郡田原本町宮古404-7 奈良県健康づくりセンター内 TEL 0744-34-1121

## 巻頭言

## 新年のご挨拶



公益社団法人 奈良県放射線技師会 会長 高谷 英明

皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年はCOVID-19が世界中に拡がり、我々の生活様式を一変する事態となりました。今尚、収束の糸口はハッキリと見えない状況です。昨年の出来事は明るいニュースが非常に少なかったと感じたのは私だけではないはずです。奈良県放射線技師会の活動を振り返りましても、昨年度の事業は軒並み中止・延期という経験した事のない事象に大変困惑し、大いに悩みながらの運営だったというのが正直な気持ちです。ただCOVID-19との共存という新たな生活スタイルの模索が始まり、海外では予防策の一つとしてワクチンの摂取が始まるなど、少しずつではありますが収束へ向けた明るいニュースも聞こえ始めてきました。2021年は丑（うし）年で十二支の2番目となる年です。牛は古くから農業などで人間を助けてくれる大切な動物で、大変良く働くパートナーとして共生してきた事から丑年は『我慢（耐える）』『これから発展する前ぶれ（芽が出る）』という様な年になると言われています。ただじっと耐える年というのを少し困りますが、2021年は昨年を遥かに凌ぐ様な明るいニュースが溢れる様に、そして明るい未来への種まきができる年になる事を願います。我々、奈良県放射線技師会も執行部一丸となり今後の事業は新しい形で会員の皆様方に有益な情報を還元できるよう努力を進めて参りますので多くの会員の方々に参加、利用をして頂きたいと思います。話は少し変わりますが、2019年より医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアの推進に関する検討会が始まり、我々診療放射線技師にもその役割を請け負う整備が進められているところです。この整備が整うと、医師以外の医療職種はそれぞれの役割を果たすべく、タスク・シフト/シェアが開始されます。この様に常に医療改革が続いている中、遅滞なく正しい情報の収集や、その備えには個人では限界があると思います。個が結束し、組織となる事で様々な繋がりが生まれ、情報共有が可能となりその情報は組織から個へと還元されます。特に我々の様な職能団体はその役割を十分に果たす事ができる組織です。会員の皆様におかれましてはどうかこの奈良県放射線技師会、日本診療放射線技師会という『組織』を大いに利用し、ご自身へその情報を還元していただきたいと思います。我々医療従事者にとって未だ未だ予断を許さぬ状況です。皆様におかれましてはご家族様を含め、お身体には充分にご自愛下さいませ。我々執行部一同は、これからも皆様のご期待にお応えできるよう精一杯努力する所存ですので、本年も奈良県放射線技師会を宜しくお願ひ申し上げます。



公益社団法人 奈良県放射線技師会  
会長 高谷 英明  
福利厚生委員長 玉井 宏征

技師会員・賛助会員の皆様へ

## 奈良県放射線技師会福利厚生委員会事業 開催中止のおしらせ

初春にふさわしく、のどかな天候が続いています。平素は奈良県放射線技師会福利厚生事業にご参加、ご協力頂きまして誠にありがとうございます。

この度、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染が拡大したことにより、予定しておりました厚生事業のすべてが中止となり、楽しみにして頂いていたと思いますが皆様のご期待に応えることのできない結果となりました。

また、日ごろ多大なるご支援をいただきしております賛助会員の皆様と情報交換の場である年末情報交換会も中止せざるを得なくなり、皆様と仕事を抜きでお話しできる場がなくなり残念に思っております。

### 【中止福利厚生事業】

- ・春のボーリング大会
- ・秋のハイキング＆BBQ
- ・近畿地域診療放射線技師野球大会
- ・年末情報交換会

現在も COVID-19 の収束の兆しはまだ見えておりませんが、福利厚生委員会として本年度も事業再開に備えて準備し、会員様の健康を第一に考えた企画を提案していく予定です。

### 【2021年度福利厚生事業】

- ・5月、10月頃（春・秋の福利厚生事業：健康増進）
- ・11月（第68回近畿地域診療放射線技師野球大会 in なら）
- ・12月（年末情報交換会）

今後とも、奈良県放射線技師会福利厚生事業をよろしくお願ひいたします。

# 安全管理委員会 だより vol. 2

奈良県医療安全推進センター 第12回ネットワーク会議

## 「MRI検査時の酸素ボンベ吸着」

安全管理委員会 委員 田北病院 小林 勝宏

令和2年10月21日（水）に、奈良県医療安全推進センター第12回ネットワーク会議が開催され、私も関連団体として公益社団法人奈良県放射線技師会から参加させていただきました。平日の14時という開催時刻にもかかわらず、17施設・2関係団体から47名（看護師22名、診療放射線技師14名、薬剤師5名、臨床検査技師3名、事務職2名、臨床工学技士1名）というたくさんの方が参加しておられ、皆さんの医療安全に対する意識の高さがうかがえました。

奈良県医療安全推進センターは、医療上の有害事象に関する幅広い情報を収集し、発生及び抑止の要因を分析・研究するとともに、再発防止のために県内医療機関と情報共有し、医療安全体制の構築を図ることにより、県内医療機関の医療の質の向上を目指して平成29年4月に奈良県の支援により設立された任意団体です。奈良県内の一般会員33施設、関連団体11団体で組織されており、公益社団法人奈良県放射線技師会も関連団体として設立当初から参加しています。活動としては奈良県医療安全推進協議会の決定する運営方針に基づき

- (1) インシデント・アクシデントレポート収集・分析・研究
- (2) 再発防止策の検討、提案
- (3) 会員からの事例相談への助言・対応
- (4) 県内医療機関への医療安全に関する情報提供
- (5) 医療安全文化を高めるマネジメントの普及・啓発
- (6) その他の目的を達成するために必要な業務

などの業務を行います。

奈良県医療安全推進センターでは、令和元年度よりオンラインによるネットワーク会議を定期的に開催し、毎回テーマに沿って情報共有・対策検討・意見交換が行われています。今回は「MRI検査時の酸素ボンベ吸着」というテーマで、実際にあった酸素ボンベの吸着事故をもとに事例検討を行いま

### 第12回 医療安全管理者 ネットワーク会議

#### MRI検査時の酸素ボンベ吸着

2020年10月21日（水）14時～

#### 事例

- 80歳代、女性 意識障害のため救急外来へ救急搬送。  
意識レベル：JCS100～200（刺激に反応）  
体温：37.0℃、血圧：141/83mmHg、酸素飽和度：90%  
酸素マスク2L投与し、酸素飽和度99%
- 精査目的のためMRI検査オーダーがあった。  
救命救急センター看護師AがMRI室へ検査依頼の電話連絡を行った。この際、放射線技師に患者の年齢・意識レベルを伝えたが、酸素投与については伝えなかった。  
他患者の検査中のため、15分後の撮影になるとのことであった。

奈良県医療安全推進センター

#### 事例

- 研修医がMRI室からMRI用ストレッチャーを借用し、看護師Aと患者をMRI用ストレッチャーへ移乗した。  
その際、研修医が酸素ボンベをストレッチャー架台へ移し替えた。
- 放射線技師が初療室へ呼びに来たため、看護師Aと研修医、放射線技師の3名で患者を初療室からMRI室へ移送した。
- MRI待合室で研修医が「あとは放射線技師と2名でやっておきます」と言ったため、看護師Aは初療室へ戻り、放射線技師は撮影準備のため操作室へ移動した。

奈良県医療安全推進センター

#### 事例

- 研修医は、自分が身につけていたものを全て外し、その後放射線技師とMRI室内へ患者を移送した。患者は酸素マスクを装着していたが2名とも酸素マスクに気づいていなかった。
- MRI装置の検査台横にストレッチャーを近づけたところ、酸素ボンベが装置に吸着した。その時、酸素ボンベの存在に気づいた。  
もう一台のMRI装置で約5時間後に検査を行い、患者の治療に影響はなかった。  
MRI室へ移送前に、MRIチェックリストに沿って確認をしたが、患者のボディチェックおよびタイムアウトを実施していなかった。

奈良県医療安全推進センター・第12回ネットワーク会議 資料より



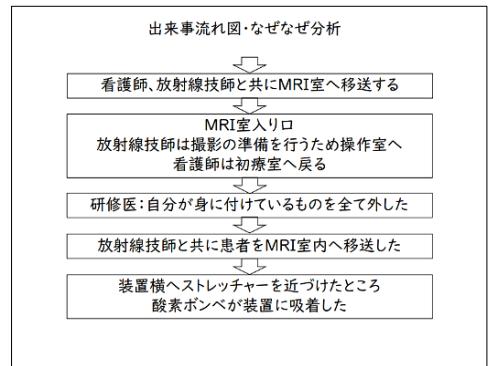
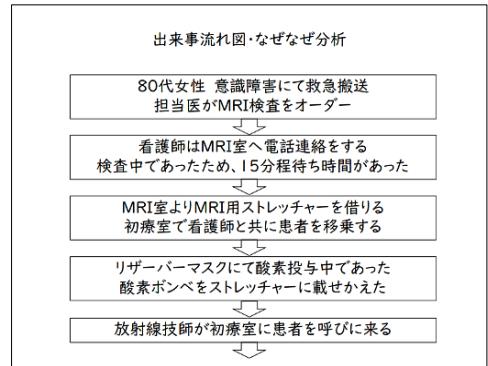
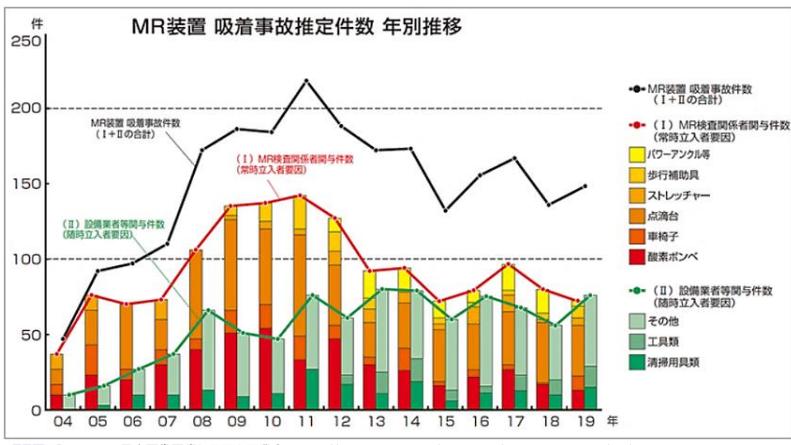
## 安全管理委員会より

した。会議での資料を掲載しますので、皆様も一度事例検討してみて下さい。

今回はテーマが「MRI 検査時の酸素ボンベ吸着」という事で、各施設から診療放射線技師の方が参加されており、各施設の MRI 吸着事故防止の工夫や対策などを教えて頂きましたので、いくつか紹介したいと思います。

- ・MRI 専用ストレッチャーの酸素ボンベ架台が寝台の下に設置されているため（資料）、酸素ボンベを使用している場合に見逃して持ち込む可能性があるので、酸素ボンベの架台自体を取り外している。
  - ・支柱台や酸素ボンベを取り付けるところをテープなどで塞ぎ、使用出来ないようにしている。
  - ・初療室で MRI 用ストレッチャーに移ってから MRI 検査室に来るとそのまま入室してしまう恐れがあるので、患者の移乗は必ず前室で行い、診療放射線技師、看護師、研修医など複数人で確認するようにしている。
  - ・MRI 専用のストレッチャー、車椅子、支柱台などは MRI エリア外に持ち出さないようにしている。
  - ・MRI 専用支柱台は一目でわかるようにテープを巻いている。
  - ・MRI 検査室の入り口に磁性体センサーを設置している。その中でも、「MRI 専用のストレッチャーや車椅子に酸素ボンベを装着出来ないようにしている」「患者移乗は必ず前室で行い、そこで複数人で磁性体のチェックを行う」という対策がいくつかの施設で共通していました。

しかしながら、MRI検査室に磁性体を持ち込まないような対策や工夫というのはどの施設でも行われているにもかかわらず、MRI検査における磁性体の吸着・吸引事故、火傷及び電子情報を有するインプラント等の電子情報の消失は依然として発生している状況にあるという報告が、一般社団法人日本画像医療システム工業会から出ています。



MRI室の扉には「磁性体がないか」の注意喚起を掲示しています



「奈良県医療安全推進センター・第12回ネットワーク会議」資料より



私は「診療放射線技のためのフレッシャーズセミナー」で「医療安全」を担当していますが、そのスライドの中で「To Err is Human 人は誰でも間違える」という提言があります。これは「人は（どれだけ注意していても）ミスをする」ことを前提に、ミスをしても障害に至らず安全を確保できるシステムを再設計することが重要であるという、米国科学研究所の医療の質委員会が発表した報告書です。

システムの再設計には振り返りと分析が必要とされており、インシデント発生時の分析手法には、最も単純な「なぜなぜ分析」や標準化された分析方法である「ロンドン・プロトコル」があります。ロンドン・プロトコルとは「臨床上のインシデントに関するシステム分析」であり、出来るだけ客観的な検討と対策立案のため、調査の特定および決定、調査チームの人選、組織化およびデータ収集、インシデントの時間軸に基づく分析、医療安全問題（CDPs；Care Delivery Problems）の特定、寄与要因の特定、勧告の作成と活動計画の策定、という7つの段階を順に追うことで、分析の方法論として標準化したものです。

会議の中で、奈良県医療安全推進センター・センター長の上田裕一先生は、今回のインシデントについてロンドン・プロトコルの「臨床行為に影響を及ぼす寄与要因」に沿って、①患者要因：患者の意識がなかった、酸素吸入が必要であった、②業務および技術的要因：要酸素吸入患者に対するMRI検査時の対応やルール、③個人的要因：職種や個人の認識の違い、個人の経験や知識、緊急検査での焦り、④チーム要因：情報伝達不足、コミュニケーション不足、⑤労働環境要因：予定検査の間にに入ったイレギュラーな緊急検査、と分析し、再発防止対策として一般社団法人日本磁気共鳴医学会および公益社団法人日本医学放射線学会から出されている「臨床MRI安全運用のための指針」をもとに、安全管理体制としてMRI検査管理チームを設置し、施設内の医療従事者へ講習会を年1回程度開催すること、検査前の安全管理として金属持ち込みを防止する教育及び管理体制（マニュアル作りなど）を整備することなどを紹介していました。

「To Err is Human」人は誰でも間違えます。上田先生は、たとえ一人が間違えたとしても二重三重のチェックが働き、重大なインシデントに至らないようなシステムを構築することが大切だと仰っていました。

今回、奈良県医療安全推進センターのネットワーク会議に参加させて頂き、他施設のMRI検査における磁性体の持ち込み防止対策や、インシデントに対して標準化された分析法であるロンドン・プロトコルを用いて寄与要因の分析をするなど、自施設の安全管理を見直す良い機会となりました。

最後になりますが、参加記を書くにあたり「是非皆さんで共有して下さい」と会議資料の掲載使用をご快諾下さいましたセンター長の上田裕一先生はじめ奈良県医療安全推進センターの皆さん、この場をお借りしてお礼申し上げます。

#### 臨床上のインシデントに関するシステム分析

#### ロンドン・プロトコル

(日本語翻訳版/Japanese Translation Version)

Sally Taylor-Adams & Charles Vincent

Clinical Safety Research Unit  
Imperial College London  
Department of Surgical Oncology and Technology  
10<sup>th</sup> Floor QEQM Building  
St Mary's Hospital  
Princes Street  
London  
W2 1NY  
Email: c.vincent@imperial.ac.uk

日本語翻訳版 Version 2.0  
Y. Fujisawa T. Seuma

#### 臨床行為に影響を及ぼす寄与要因の枠組み(1/2)

要因のタイプ	寄与もしくは影響要因
□患者要因	<input type="checkbox"/> 病状（複雑さと重症度） <input type="checkbox"/> 言葉やコミュニケーション <input type="checkbox"/> 人格や社会的要因
□業務および技術的要因	<input type="checkbox"/> 業務デザインと構造の明確さ <input type="checkbox"/> プロトコルの利用可能性やその実際の利用 <input type="checkbox"/> 検査結果の利用可能性とその正確さ <input type="checkbox"/> 意思決定への支援
□個人（医療従事者個人）要因	<input type="checkbox"/> 知識と技術 <input type="checkbox"/> 力量 <input type="checkbox"/> 身体的および精神的健康さ
□チーム要因	<input type="checkbox"/> 頭でのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 文書でのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 指導監督と助力要請 <input type="checkbox"/> チーム構成 （調和、一貫性、リーダーシップなど）

#### 臨床行為に影響を及ぼす寄与要因の枠組み(2/2)

要因のタイプ	寄与もしくは影響要因
□労働環境要因	<input type="checkbox"/> 人材配置水準と職種混合 <input type="checkbox"/> 仕事量と勤務シフトのパターン <input type="checkbox"/> 機器類のデザイン、利用可能性及びメンテナンス <input type="checkbox"/> 管理や経営の支援 <input type="checkbox"/> 環境 <input type="checkbox"/> 物理的条件
□組織およびマネジメント要因	<input type="checkbox"/> 財源及びその制約状況 <input type="checkbox"/> 组織体制 <input type="checkbox"/> 内部規定、基準及び目標 <input type="checkbox"/> 安全文化と優先順位
□制度的要因	<input type="checkbox"/> 経済および規制状況 <input type="checkbox"/> 医療サービスの行政機関 <input type="checkbox"/> 外部組織との繋がり

「奈良県医療安全推進センター・第12回ネットワーク会議」資料より



## 2020年度 第4回定期理事会議事録（抄）

日時：2020年11月17日（火）19時05分～21時15分

場所：奈良県立医科大学 教養教育棟 第一講義室

出席理事：高谷英明、池口俊孝、小林勝宏、竹中智士、  
野儀明宏、日浦之和、秋山敬純、山田卓実、  
辻村恭平、細川倫之、玉井宏征、吉田真大、  
高田太輔、錦一聰

欠席理事：北村未央（Web参加にて報告いただく）

出席監事：水野吉将、高嶋敏光

会長挨拶2020年も残す所後僅かになりました。事業に  
関してはその殆どが中止になるという事態に陥りました。  
まだ終息の兆しが見えぬまま気温が下がり、空気の  
乾燥が進むと主にCOVID-19罹患者数が再度増加してき  
ております。皆様におかれましては業務以外でも充分に  
気をつけて下さいます様お願いいたします。尚、限りある  
時間を有効に使うべく議案書には充分な事前確認をお  
願いしたく存じます。

## 定数確認（第30条）

出席理事14名、出席監事2名、欠席理事1名

定款30条により、理事会の成立が宣せられた

議事録作成人ならびに署名人の指名

議長（第31条）：高谷英明会長

議事録作成人：竹中智士常務理事

議事録署名人（第32条）：水野吉将監事、高嶋敏光監事

## 議案（報告事項）

## 1. 会長報告

## (1) 奈良県関係

がん検診啓発グッズが送付されました。今年度は  
県民及び会員の方々にこの案内はできませんが我々  
理事が新型コロナウイルス感染症予防対策を講じな  
がら個々が啓発に努めて頂ければと思います。

## (2) 奈良県放射線技師会関係

（ア）技師会事務所に設置している電話に関して県に問  
い合せをしました。県からは事務所を無くすのでなく電話をPHSやスマホに変更する分には問題  
がないとの回答をいただきました。現在技師会事  
務所にある電話回線について、現在健康づくりセ

ンター内の利用がアナログ回線での利用（ISDN）とな  
っており、2024年までに光回線への移行を進め  
ているそうです。固定電話の回線をそのまま継続する  
か固定電話を解約しPHSやスマホや携帯へ移行するか  
の審議をお願いしたいと思います。

- （イ）2021年度に慈済科技大学より研修生1名の受入に関する依頼がありました。11月現在、奈良医大は外部からの研修生の受け入れを停止している為、現状では具体的に受け入れが難しい旨の返信をしていま  
す。
- （ウ）その他 担当理事より報告
- （3）日本診療放射線技師会関係
- （ア）永年勤続表彰（勤続30年10名、勤続50年 1名）  
功労表彰対象者（2名）の推薦を行いました。
- （イ）理事メールで送った通り厚労省からのタスクシフト  
/シェアの調査依頼がありました。回答の締め切り  
は11月16日（月）18時でした。
- （ウ）滋賀県放射線技師会の70周年記念式典事業が来年度  
へ延期となりました。

## 【他府県からの発刊物】

（公社）東京都診療放射線技師会

東京放射線 2020年 10月号 Vol. 67 No. 787

東京放射線 2020年 11月号 Vol. 67 No. 788

（公社）神奈川県放射線技師会

かながわ放射線だより「KART」

Vol. 73 No. 3 Sep. 2020 288

（公社）埼玉県診療放射線技師会 埼玉放射線 第262号

（公社）福島県診療放射線技師会

福島放技ニュース No. 178

（公社）岐阜県診療放射線技師会 会誌 第94巻

（公社）宮城県放射線技師会

MART会報 94 2020. 9 Vol. 128

（公社）富山県診療放射線技師会 会報 Vol. 94 2020

## 【近畿地域診療放射線技師会関係】

（公社）大阪府診療放射線技師会 大放技会報 No. 334

（公社）京都府放射線技師会

京放技ニュース 10/2020 通算725号

京放技ニュース 11/2020 通算726号



(公社) 兵庫県放射線技師会会誌

HART 2020.11.1 Vol.80-2

## 【他団体からの発刊物】

(社) 奈良県結核予防会 機関紙『複十字』 No.394

日本救急撮影技師認定機構 機関誌 Joint 第12号  
Joint 特集号

奈良県社会福祉協議会 広報誌

奈良県 福祉だより 2020 No.550

(一社) 奈良県医師会

「奈良県医師新報」September 2020 vol.824

「奈良県医師新報」October 2020 vol.825

奈良県医師会 医学会年報 第33巻 第1号

(一社) 奈良県臨床検査技師会

奈臨技 ニュース No.316

奈臨技 ニュース No.317

(一社) 奈良県薬剤師会 会誌 第185号

(公社) 日本歯科技工士会

「日本歯技」10 October. 2020 第616号

「日本歯技」11 December. 2020 第617号

千代田テクノル

FB News 2020 10 No.526

FB News 2020 11 No.527

大阪物療大学

物療新聞 第19号

## 2. 副会長の活動報告

(池口副会長)

第4回学術委員会 奈良県立医科大学教養教育棟

第一講義室 2020年10月 6日 (水)

第2回安全管理委員会 (Web開催)

2020年10月20日 (火)

近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

第4回プロジェクトミーティング (Web開催)

2020年11月 2日 (月)

(小林副会長)

第2回安全管理委員会 (Web開催) 2020年10月20日 (火)

奈良県医療安全推進センター 第12回ネットワーク会議

(Web 開催) 2020年10月21日 (水)

第4回組織委員会 (Web開催) 2020年10月21日 (水)

近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良

第4回プロジェクトミーティング (Web開催)

2020年11月 2日 (月)

## 3. 常設委員会

(1) 総務関連事項 (竹中智士常務理事)

9月11日から11月10日まで

新入会員

なし

退会

9月30日 25123 植田 典男

転入

なし

転出

なし

異動

9月14日 60921 田嶋 綾乃 (姓名 旧:河村)

10月11日 37970 黒田 大悟 (自宅住所、電話番号)

10月11日 50842 前川 武志 (自宅住所)

10月23日 64581 新垣 杏奈 (自宅住所、勤務先)

社会医療法人松本快生会西奈良中央病院

→ D r. 久高のマンマ家クリニック

10月27日 59136 清水 徳人 (会誌等送付先)

自宅 → 医療法人上野会 上野会クリニック

10月29日 35418 西坂 宏之 (勤務先)

誠幸会 わだ整形外科クリニック

→ 医療法人 前之園診療所

11月09日 31388 中務 勉 (勤務先、会誌等送付先)

医療法人社団湧水方円会 稲田病院 → 自宅

11月09日 66869 大槻 晶来 (勤務先、会誌等送付先)

近畿大学奈良病院 → 近畿大学病院

新規施設登録

なし

施設情報変更

なし

賛助会員

なし

慶事・弔事

・慶事

なし

・弔事

9月21日 32799 中盛 久満 お父様ご逝去のため弔電

(9/21)

10月30日 57921 宮島 祐介 お父様ご逝去のため弔電

(10/30)



## 会員数

(公社) 奈良県放射線技師会正会員 440名

(9月10日第3回定例理事会時 441名)

備考：公益社団法人日本診療放射線技師会関連

奈良県会員 439名 仮会員 2名 (11月10日現在)

イベント・カウント申請、完了

## 1) 申請

なし

## 2) 完了

なし

その他

## 【質疑】

なし

## (2) 財務関連事項 (山田卓実財務担当理事)

中間報告

2020年度 11月 1日 現在 会計中間報告									
科目	公益目的事業会計								
	公 1			公 2			公 3		
	農民に対する講演会、知識の普及啓発事業			研究開発及び指導、職業倫理の高揚を支援			団費用行事の実行及びホームページにおける		
経常費用	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率
事業費									
会員費	100,000	0	0%	150,000	0	0%	0	0	
旅費交通費	200,000	1,640	1%	200,000	7,320	4%	0	0	
通信運搬費	10,000	0	0%	10,000	0	0%	300,000	117,936	39%
消耗品費	50,000	0	0%	100,000	0	0%	0	0	
印刷製本費	200,000	0	0%	50,000	13,540	27%	1,200,000	481,386	40%
賃料費	150,000	0	0%	0	0	0	0	0	
諸謝金	200,000	0	0%	200,000	0	0%	0	0	
支払手数料	5,000	0	0%	5,000	330	7%	5,000	1,650	33%
会員費	50,000	0	0%	0	0	0	0	0	
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	
研究助成費	0	0	0	0	0	0	0	0	
雜費	200,000	0	0%	200,000	0	0%	0	0	
その他事業会計									
科目	他 1			他 2			他 3		
	日放技及び近畿地区放射線技師会との連携による学術大会			研究会・勉強会への助成事業及び海外研修生の受け入れ事業			会員に対する福利厚生事業		
	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率	予算額	支出額	予算執行率
経常費用									
事業費									
会員費	0			0			0		
旅費交通費	50,000			0			0		
通信運搬費	50,000			10,000		0%	0		
消耗品費	0			5,000		0%	0		
印刷製本費	50,000						0		
賃料費	0			0			0		
諸謝金	0			0			0		
支払手数料	5,000			5,000		0%	0		
会員費	0			10,000		0%	0		
福利厚生費	0			0			300,000		0%
研究助成費	0			300,000		0%	0		
雜費	50,000	0	0%	50,000	0	0%	0	0	
科目	法人会計		予算 執行率						
管理費	予算額	支出額							
純会費	100,000	0	0%						
旅費交通費	200,000	28,800	14%						
通信運搬費	200,000	108,115	54%						
消耗品費	100,000	28,431	28%						
印刷製本費	80,000	175,670	220%						
支払手数料	5,000	1,430	29%						
雜費	1,001,905	173,554	17%						

○登記費用 67,000円 法人会計 雜費より支出  
○鹿苑ニュース 58,642円 公3 印刷製本費より支出

## 【質疑】

なし

## (3) 学術関連事項 (野儀明宏学術委員長)

## ① 奈良県放射線技師会学術大会2020について

2020年度の開催は中止で決定

\*座長、講師、シンポジストの先生には、中止およびスライド開催について連絡済み。

\*会場、キャンセル済み。

## 2021年度開催予定

\*座長、講師、シンポジストの先生には、スライド開催について依頼済み。

開催日時：2021年10月24日（日） 11:00～17:00

場 所：奈良県社会福祉総合センター 仮予約済み  
テーマ：「奈良県の救命救急医療の現状

～今を知りどう動くか～」

## ▶予算（案）

	科 目	2019年度 予算	2019年度 決算	2021年度 予算
収入	参加費	10,000	12,000	
	事業対策費	340,000	274,010	345,370
	計	350,000	276,010	345,370
支出	会場費 会場使用料	40,000	41,380	75,370
	会場備品費	10,000	8,600	50,000
	謝金（講師・座長・ シンポジスト）	60,000		75,000
	28,000			
	交通費（講師・座 長・シンポジスト・ 理事・学術委員・ 実行委員）	40,000	17,200	40,000
	会議費（シンポ・ 抄録・拡大）	30,000	27,060	30,000
	印刷費	60,000	46,445	60,000
	通信費	—	—	5,000
	雑費	10,000	2,785	10,000
	消耗品費（記念品）	100,000	104,540	—
	計	350,000	276,010	345,370

## ▶方針 ・新型コロナウイルス (COVID-19)の感染拡大

防止を考慮して、会員情報交換会は検討。

## ○審議事項 なし

## ② 奈ラーニング2020について

2020年度の開催は中止で決定



\*講師の先生には、中止およびスライド開催について

連絡済み。

\*会場、キャンセル済み。

#### 2021年度開催予定

\*講師の先生には、スライド開催について依頼済み。

開催日時：2021年11月26日（金）

19:00～21:00（18:30受付）

場 所：奈良県立医科大学 臨床研究棟 大会議室

テー マ：診療放射線分野における感染症対策

#### ▶予算（案）

	科 目	2018年度 決算	2021年度 予算
収入	参加費（非会員1,000円）	2,000	2,000
	事業対策費	50,980	73,000
	計	52,980	75,000
支出	会場費 会場使用料	0	0
	会場備品費	0	0
	講師謝金（交通費込み）	40,000	40,000
	交通費（学術委員13）	7,380	10,000
	会議費	—	—
	印刷費	5,600	10,000
	通信費	—	5,000
	雑費	—	5,000
	消耗品費	—	5,000
	計	52,980	75,000

#### ③ 県民公開講座について

2020年度の開催は中止で決定

\*座長、講師、シンポジストの先生には、中止およびスライド開催について連絡済み。

\*会場、キャンセル済み。

#### 2021年度開催予定

\*座長、講師、シンポジストの先生には、スライド開催について依頼済み。

開催日時：2022年1月16日（日） 13:30～16:45

場 所：奈良県橿原文化会館小ホール

テー マ：「乳がんの診断と予防

～健康なくらしのために～」

講 師：【診療放射線技師の立場から】

済生会中和病院 放射線科 山下有希

#### 【行政の立場から】

奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課がん対策係

【医師の立場から】 学研奈良乳腺クリニック

所長 山本克彦

#### ▶今後の予定

- ・行政の講師：奈良県福祉医療部医療政策局疾病対策課がん対策係に講師の可否確認 → 講師の内諾が頂けない場合は他の講師を選定

#### ▶方針

- ・後援申請は現行通り、広報については県下情報誌等を広く利用する。

#### ▶予算（案）

	科 目	2019年度 予算	2019年度 決算	2021年度 予算
収入	参加費	—	—	—
	事業対策費	330,000	304,106	400,000
	計	330,000	304,106	400,000
支出	会場費 会場使用料	50,000	46,310	50,000
	文化会館・宏陽舞台	90,000	94,260	20,000
	会場備品費	30,000	30,000	30,000
	展示パネル	70,000	48,000	70,000
	謝金（講師・座長・シンポジスト）	10,000	8,160	15,000
	交通費（理事：15名、学術委員：6名）	25,000	16,827	25,000
	昼食費（理事：15名、学術委員：6名）	—	—	—
	会議費	35,000	28,020	35,000
	印刷費	15,000	15,204	15,000
	通信費	5,000	885	5,000
	消耗品費（記念品）	—	—	—
	計	330,000	304,106	400,000

#### 【質疑】

小林副会長：今年度の開催はすべて中止で、スライド開催というのはどういう事ですか。

野儀理事：今年度中止としたテーマ、講師を変えずに来年度に持ち越して開催するという意味です。

池口副会長：来年度の予算案を挙げていますが、来年度



がどうなるのかまだ分からぬ状態で審議を行うことは早すぎるのではないか。

野儀理事：今回は次年度の開催日とテーマのみの報告とします。

高谷会長：会場は押さえています、予算案はオンラインのものですか。

野儀理事：会場は押さえています。今回挙げている予算案はオンラインのものです。オンラインでできなかった場合の検討をしていきます。

#### (4) 教育関連事項（日浦之和教育委員長）

##### ①日本診療放射線技師会関連

診療放射線技師のためのフレッシュアーズセミナーについて開催の是非は検討中。京都では11月1日にWeb開催され、後日情報共有いただけます。2020年12月に最終判断する。開催する場合はWeb開催を考えています。

審議事項 なし

##### 【質疑】

日浦理事：開催するとなると、1月の理事会で予算を承認していただき、2月か3月に開催となると思います。開催するならWeb開催となると思いますが、時間がありません。奈良県理事会としてどうするかを決めていただきたいです。

高谷会長：奈良県で新人を対象に実施する会で、日、時間などは任意に設定できます。可能であるならば、Webでやっていただきたいと考えています。

日浦理事：音声付スライドを配信する方法で行うはどうでしょうか。動画配信やハイブリッドとなると今から準備するのは大変です。

高谷会長：タイトになりますので、教育だけでなく他の理事の手も借りてやるようにしていただきたいです。このような形で進めていくことについて監事さんはいかがでしょうか。

高嶋監事：機材等をそろえるのは今からでは大変になりますし、この方向で検討していただけたらよいと思います。

#### (5) 広報関連事項（秋山敬純広報委員長）

10月25日 鹿苑ニュースNo.275を発行

11月 5日 県民公開講座中止の案内 DM 193通  
送付済

鹿苑ニュース No.276発行について

締切：12月20日頃 (年始に発行予定)

内容：巻頭言 : 新年の挨拶

学術委員会 : 学術関係案内など

組織委員会 : 地区懇話会など

教育関係 : フレッシュアーズセミナーなど

福利厚生 : 情報交換会など

安全管理 : 案内など

ホームページ : 案内など

2020年度第4回定期理事会議事録掲載

その他(事業の開催中止の場合、各委員長には案内など文書の作成)

##### 【質疑】

高谷会長：事務所に鹿苑ニュース等送っていただいているますか。

秋山理事：送っていません。

高谷会長：事務所に資料として保管しなければなりませんので、発刊物はすべて送ってください。

秋山理事：今までの分は前任理事より預かっていますが、事務所に送りますか。

高谷会長：今までの分は保管できていますので、必要ありません。

##### ホームページ関連事項

(北村未央委員長Web参加にて報告いただく)

##### ①アップロード・修正・設定 等 (9月15日～11月10日時点)

10月16日	新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた 本会事業等の対応について (更新) 県民公開講座 中止のお知らせ (県民ページ)
10月22日	アンケートのご協力お願い 「令和2年度診療放射線技師給与の動向に 関する調査」
11月4日	鹿苑ニュース No.275 診療用放射線に係る安全管理体制等における 「安全利用のための研修の実施」に関する 日本医師会 Web サイトのご紹介 厚生労働省医政局長発出「眼の水晶体に受け る等価線量限度の改正に係る具体的な事項等に ついて (医政発 1027 第4号)」

その他	過去の記事を整理、COVID-19 関連バナー (準備中)
-----	----------------------------------

②第2回ホームページ委員会 10月16日（金）  
@済生会中和病院

- 議事1. 奈放技HPへのアクセス解析について  
議事2. リニューアルプラン サイトマップ（案）について  
議事3. 今後の作業工程と分担について

- [方針] • サイトマップ構成 繼続議案  
• バックナンバーやカテゴリーをまとめる  
• アップロード作業はHP委員3人ともできる体制にシステム変更  
• 掲載記事の抽出 →各委員会へ依頼  
• 各様式のダウンロード →様式の再確認、各委員会へ依頼（年内締切）

#### 審議事項

##### HP掲載スキームについて

☞資料①：業務改善提案書「HP掲載スキームの構築について」HP掲載スキーム図・申請書（案）

#### 【質疑】

高谷会長：ホームページ委員会のメーリングリストを秋山理事に作っていただきます。今回の報告事項に関するご意見をそちらのメーリングリストに出してもらうようにします。

辻村理事：高谷会長と北村理事に依頼しておりました、大和郡山病院の求人募集についてはこの件が決まってからになりますか。

高谷会長：申請方法に関して形式が決まっていませんので、従来通りの手順で審議事項にします。

#### （6）福利厚生関連事項（玉井宏征福利厚生委員長）

- ① 2020年度厚生事業について  
1. 春の福利厚生事業 → 中止  
2. 秋の厚生事業：2020年10月4日（日）にハイキング&BBQ大会を開催予定 → 中止  
3. 第67回近畿地域診療放射線技師会野球大会  
(滋賀県) → 中止

第68回近畿地域診療放射線技師会野球大会（奈良県）となり候補日として（第一候補）2021年11月3日（第二候補）11月23日として、桜井芝運動公園を利用できるようにお願いしている。

- ② 新年情報交換会の開催について

公開講座中止に伴い、会員、賛助会員の情報交換は今年度は他の事業同様中止でよいか

#### 【質疑】

高谷会長：近畿地域診療放射線技師会野球大会について年が明けてから押さえられるか分かるということですが、いつになりますか。

玉井理事：1月の中頃とのことです。

高谷会長：駄目だった場合の第2 第3くらいの候補を考えておかないといけません。大体桜井芝運動公園ですが、広陵、樺原でも行ったことがあります。候補として考えていただきたい。

#### （7）安全管理関連事項

（北村未央安全管理委員長Web参加にて報告いただく）

第2回安全管理委員会 10月20日（火）@zoom

##### 議事1. 委員会内の役割分担について

- ① 医療安全 : 主担当 池口 俊孝 副会長  
② 原子力災害時対応 : 主担当 小林 勝宏 副会長  
③ 災害対策・対応 : 主担当 葛和 剛 外部委員

##### 議事2. 進捗報告と今後の委員会活動について

- ① 医療安全  
■奈良県医療安全推進センター関連  
・医療安全管理者ネットワーク会議  
9/23（水）「患者移乗」委員参加なし  
10/21（水）「MRI検査時の酸素ボンベ吸着」  
高谷会長、小林副会長  
・第1回職種別再発防止策検討委員会  
11/9（月）委員参加なし  
・変更届提出  
会員代表者 : 高谷会長  
医療安全管理責任者 : 池口副会長  
医療安全担当者 : 北村理事  
連絡先 : naraken@rokuen.jp

#### 《活動方針・行動計画》

- ・医療安全推進センターの会議や研修会への参加  
→参加姿勢の整理が必要
- ・事例の共有
  - [いつ] 国内外で放射線技師の業務関連の事例  
が生じた際
  - [だれが] 当委員会



〔どうやって〕誌面、HP、既存の研修会（奈ラーニング、地区懇話会）の中で研修・ディスカッションの機会を持つ

## ②原子力災害時対応

### ■管理士関連

- ・サーベイチーム募集・登録案 繼続議案

#### 《活動方針・行動計画》

- ・JART・管理士部会の意向や動きと整合を図る
- ・神奈川県の活動・体制を参考にしたい
- ・関西で足並みを揃える方向で近畿に提案したい
- ・関西広域連合、県、JART・管理士部会との連携強化

### ■原子力災害時の放射線被ばくの防止に関する研修会関連

- ・現窓口：奈良県広域消防組合警防部警防課救助係主任  
井戸本氏

#### 《研修会開催予定》

総会時の年間行事予定…11月（日未定）

→日程・開催形態・中止基準等につき要調整

11/19（木）16:00～ @奈良県広域消防 打ち合わせ

\*中止

株式会社日立製作所 ライフ事業統括本部汎用分析システム営業部 宮川氏 →連絡済み

## ③災害対策・対応

### ■災害時被災状況連絡体制関連

- ・災害発生なし、実動なし

#### 《活動方針・行動計画》

- ・DMATのノウハウを生かし整備できないか考案する

### ■災害支援関連

- ・実動なし

#### 《活動方針・行動計画》

- ・管理士と同様にシステム化したい
- ・JARTの意向や窓口・体制についてヒアリング  
→活動計画の検討へ

## ④広報活動

- ・安全管理委員会だより 鹿苑ニュースNo.275掲載6

#### 《活動方針・行動計画》

- ・次回安全管理委員会だより  
10/21ネットワーク会議参加記（小林）
- ・広報活動により、活動の具体化・見える化  
→確実性へ繋げる
- ・委員全員がアンテナを持ち、会員に知らせるべき案件を捉える

### 審議事項

- 原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会の開催について

### 【質疑】

なし

#### (8) 組織関連事項（辻村恭平組織委員長）

##### 第4回 組織委員会 議案

1、ポスター更新に関して前回、担当していただいたポスター作成委員に打診して、更新する方向ですすめている状況。異動などにより、ポスター作成委員が変更になっている施設には、後任の担当者が引き継ぎを行ってもらう予定。

今回は、更新時期としては、まだ経過期間が短いので、大きなポスター変更はしない。奈良県マスコットキャラクター「せんとくん」の更新も同時にすすめる。締め切り期限：2020年11月30日  
更新されたポスターを委員会で検討を行うこととする。

「せんとくん」の更新に関しては、前回担当していただいた山口委員の意見を参考に更新を進めている。

##### 2、四地区合同懇話会 Web開催に向けて

開催日時：未定

開催内容：テーマ

座長：未定

##### Web開催の課題

組織委員会として、Web開催を行った経験がないため、まず装置メーカーの担当者にノウハウを相談することにした。3メーカー（キヤノンメディカル、シーメンス、GEヘルスケア）からの協力を得た。各メーカーからのご提案内容を報告する。

GEヘルスケア；Web講演等の専門の外部業者に委託しているため、外部業者に相談内容を持っていくことになります。との回答であった。キヤノンメディカルとシーメンスの2社に相談している状況です。

開催規模（参加人数：接続する端末数）によって回線を整える必要があるが、現状、外部に委託するか個人の回



線を利用するかしかない状態で、例年の傾向から参加人数が5~60人の場合は個人の回線を利用しても問題ないと回答あり。

Teamsを使用する場合、250名を超えると通信が安定しないと両メーカーから回答を頂いている。少ない人数なら「Teamsミーティング」多い人数なら「Teamsライブイベント」が使いやすい。ただし、「Teamsライブイベント」はライセンス契約等結ばなければならず、経費もかかるとのこと。

また、50人規模になると「Teamsミーティング」「Teamsライブイベント」とともに画面構成がどうなるのか分からぬこと。

キヤノンからは正式にサポートする準備はあるとのことその場合は、技師会から「趣意書」が必要。

サポートに経費がかかるかは、現状不明。会場費やセッティングで費用がかかる（どの程度の規模かが分からぬこと正確な費用が答えられない）と回答あり。

Zoomは1000人まで通信可能だが、無料だと時間制限がある。また、今回相談している両メーカーともTeamsを日頃から利用しているため、ノウハウがあるので、今回はTeamsを利用したいと考えている。

現時点で学術委員主体のWeb開催ワーキンググループ（野儀理事、日浦理事、辻村理事）のほうも現時点では進展はない状況です。

今年度はできるとしたら、2月くらい開催できるように準備していこうと思います。

まとめ

開催日時：2020年2月

テーマ：医療被曝・管理元年 III

～自部署における取組み 進歩状況～

Web開催（ハイブリット方式）発表はオンデマンド方式で配信

Teamsを使用する。

事前登録制で当日参加なし

非会員は施設単位参加のみ可とする。

Web開催のためのメーカーとの話し合いに完田委員参加。

### 3、その他

レントゲン週間は近畿圏では兵庫県のみWebで開催する。HPに掲載する地区もある。オンラインでの開催はなし。

第5回組織委員会 2020年12月16日（水）19:00～

Web開催予定

#### 【質疑】

山田理事：Web開催に経費がかかるとのことですが、使用してもらったほうがよいです。前年度においても公益に使用するお金の執行率が足りていませんでした。さらに今年度はお金が余っています。コロナ禍で救済措置があるとのことですが、公益維持のためには公益事業にお金を使うことが本来の姿です。

日浦理事：教育のフレッシャーズではJARTから補助金が出るのですが、当会持ちで行った方がよいですか。

高谷会長：JARTからの委託事業ですので、出してもらわないといけません。

池口副会長：JARTからは講師代だけだと思います。その他は当会持ちです。

高谷会長：コストがかかる部分については、山田理事が言うようにコストをかけてやるべきです。

錦理事：財務的に使える上限はどのくらいあるですか。

山田理事：今のところ分かりません。というのもその年、または前年の会費収入によって変わることからです。事業計画に付随して予算を執行していくなければならないですが、会員数によって使用する密度は変わってきます。今年度の公益に使用しているお金は発刊物と郵送費にしか使っていません。本来使うべきお金が使えていませんが、はっきりと回答できません。

高谷会長：年間事業は決まっています。各事業にかけるお金は密度を調整しながら執行しています。できることには適正な金額をかけて開催して、予算執行していくのがよいです。

辻村理事：委託する運営業者の選定、基準はどのようにすればよいのですか。難しいとは思いますが、予算的なものを出してもらえると選定する基準になると思います。



山田理事：個人に決定権はありませんので、各委員会で見積もりをとって、理事会で審議をすればよいと思います。従来の平時ではこちらで調整をみていきました。超えそうになればストップをかけるようにしていました。回答できず申し訳ありません。

## 1. 特別委員会

### (1) 創立70周年記念事業（池口俊孝委員長）

2022（令和4）年11月開催予定。

- ・年度内に準備委員会発足。大まかな準備スケジュール決定。
- ・理事を中心に、担当を決定。

#### 【質疑】

なし

### (2) 近畿地域診療放射線技師会学術大会in奈良（北村未央大会実行委員長Web 参加にて報告いただく）

第4回プロジェクトミーティング 11月 2日（月）

@teams

#### 議事1. プログラム考案（絞り込み・具体化）

現状50%でき → 次回理事会にて暫定版提示予定

年度内予定…会場決定・会場申し込み、予算案、

大会ポスター、HP開設

☞資料：全体進行イメージ（前回提示）

#### 【質疑】

なし

## 2. 常置委員会

### (1) 定款改正等委員会（水野吉将委員長）

定款、諸規程改正に向けて見直し中。 2月までに改正案作成予定。

#### 【質疑】

山田理事：次の総会で決まるということですか。

水野監事：来年度総会で会員からのパブリックコメントを求めて、再来年度総会で定款改正にしたいです。

山田理事：例えば講師費用等でも融通が効かないで困っているところがあります。前任から進捗が全く見えていません。これからどのように進んでいくか理事からは分かりませんし、改正

前に見るチャンスがあるのかどうかも分かりません。触れない部分はあるかとは思いますが、各委員長で見るポイントは変わってくると思います。

水野監事：委員会でまとまったところを理事の皆様に見てもらうようにしたいです。 2月を目標に改正案の作成を考えています。

高谷会長：とりあえず次回 1月の理事会で進捗を出してもらうようにしてはどうですか。

水野監事：そのように準備しておきます。

山田理事：総会で会員に見てもらい、パブリックコメントを求める必要があるのですか。

高嶋監事：定款は全会員に見てもらいパブリックコメントを載せて周知して、総会で3分の2以上の賛成をもらわなければなりません。規程のほうは理事会の承認で決めることができます。

### (2) 表彰委員会（小林勝宏委員長）

報告事項特になし

#### 【質疑】

なし

### (3) 海外交流委員会（池口俊孝委員長）

2021年度に慈済科技大学より研修生1名の受入に関する依頼がありました

#### 【質疑】

水野監事：中台科技大学のほうが止まっているのはなぜですか。

高谷会長：当会は受け入れできるのですが、研修先施設のほうがまだ受け入れることができない状況だからです。

水野監事：受け入れる人数の話はどうですか。

高谷会長：各大学1名ずつの最大2名で話をしています。

## 3. 審議事項

技師会事務所の固定電話を解約し携帯やスマホPHSへ変更する事について 保留【0】反対【0】賛成【14】  
HPスキーム案をもとに進めてよいかについて

保留【12】反対【0】賛成【2】

会員、贊助会員の情報交換会は今年度は中止することについて 保留【0】反対【0】賛成【14】



原子力災害時の放射線被ばく防止に関する研修会の開催

について 保留【5】反対【2】賛成【7】

JCHO大和郡山病院の求人をホームページに掲載すること

について 保留【0】反対【0】賛成【14】

第4回定例理事会における報告および審議事項等について

保留【0】反対【0】賛成【14】

#### 4. 経過事項

第4回学術委員会 2020年10月 6日（火）

第2回ホームページ委員会 2020年10月16日（金）

第2回安全管理委員（Web開催） 2020年10月20日（火）

奈良県医療安全推進センター 第12回ネットワーク会議  
(Web開催) 2020年10月21日（水）

第4回近畿地域学術大会プロジェクトミーティング

(Web開催) 2020年11月 2日（月）

#### 5. 今後の予定

第5回学術委員会 2020年12月 1日（火）

第5回組織委員会 2020年12月16日（水）

第36回日本診療放射線技師学術大会（Web開催）

2021年 1月 8日（金）～1月31日（日）

次回理事会について（2020年度第5回定例理事会）

日時：2021年 1月19日（火）19時00分～

場所：奈良県立医科大学 教養教育棟 第一講義室

※尚、COVID-19の影響によりWeb開催の可能性もある。

以上

この議事が正確であることを証するために議長及び議事  
録署名人は記名捺印する。

2020年11月17日（火）

議長 会長（代表理事） 高谷 英明 印

議事録署名人 高嶋 敏光 印

水野 吉将 印

奈良県磯城郡田原本町宮古 404-7

奈良県健康づくりセンター内

# 県民の皆様 放射線Q & A です！

[QUESTION AND ANSWER ABOUT RADIATION]

**Q. 放射線は少ない量でも浴びると危険なのでしょうか？**

**A. ある程度の量であれば健康に影響はありませんが、高い線量は人体に有害です。**

放射線検査を受けられる際の影響についてご不安をお持ちかと存じます。

まずは、少ない線量の被ばくについてお話しします。私たちは、医療での検査や原発事故の影響などがなくても自然界（大気、地中、食物など）から放射線を浴びています。しかし、だれもこの自然放射線で害を受けてはいません。また、ラドン温泉は放射性物質（放射能）が含まれた温泉ですが、その放射線が体に害を及ぼすことはありません。逆にラドン温泉である有馬温泉は病気を治す湯治で有名です。

ラドン温泉の住民とその他の地域の住民とでがんの発生率を比べた結果、ラドン温泉の住民の方が特にがんの発生率が高いということはありませんでした。このことから、ある程度の量の放射線であれば健康障害を心配する必要はないと考えられます。

## 放射線の量と身体影響

(mSv=ミリシーベルト)

250mSv 以下	身体症状なし
500mSv	白血球一時減少
1000mSv	吐き気、おう吐
1500mSv	50%の人が 二日酔いのような症状
2000mSv	5%の人が死亡
7000mSv	100%の人が死亡

(ICRP 勧告 2007 年)

ただし、高い線量の放射線は確かに人体に害を与えます。一度に浴びる放射線量が 500 ミリシーベルトを超えると急性の症状が出現することがわかっています（左図）。

（シーベルト : Sv。放射線量のうち、放射線の人体への影響を表す単位。1 シーベルト = 1000 ミリシーベルト。）

また、100 ミリシーベルト以上の被ばくでは発がんのリスクが明らかに増えることがわかっていますが、これに対して病院で行う放射線検査の線量はどれ程でしょうか。

胸部 X 線撮影は 0.1 ミリシーベルト程度です。CT 検査の放射線量は撮影する部位や手法により異なりますが 1 回あたり 5~30 ミリシーベルト程度です（放射線医学研究所データ）。

前述した 100 ミリシーベルトより少ない線量で検査を行っている事がわかります。

放射線検査には放射線を浴びるというデメリットと、病気がわかるというメリットがあります。我々診療放射線技師は県民の皆様に対して、検査に用いる放射線量を出来る限り少なくするよう努めます。

そして検査の質には責任を持ち、情報量の多い検査結果を医師に提供することで、皆様が検査をうけていただくことのメリットを可能な限り大きくする努力をしてまいります。